大宮野球連盟登録チーム編成と大会運営について

R06.01改正

　（公財）全日本軟式野球連盟の傘下にある『さいたま市野球連盟連合会（大宮・浦和・与野・岩槻の各野球連盟で構成）大宮野球連盟』では、登録チームをＡクラスとＢクラスに分けています。（Ａ・Ｂクラスはチームの意向により決定する。）

登録チーム及び選手は、他の連盟や他チームに登録（二重登録）することはできません。二重登録が発覚した場合には、登録抹消等の厳しい処分を受けますのでご注意ください。大宮野球連盟に登録する各クラスの内容等については、下記のとおりです。

Ａクラス

　1年間で4大会（トーナメント大会）を開催。すべての大会が埼玉県大会に繋がっているため、大宮支部予選会は土曜日・日曜日を中心に試合が行われます。また、　関東大会や全国大会では土・日曜日以外でも試合がありますので、それでも参加できるチームが登録している。

　4大会のうち、①、③は9回戦、②、④は７回戦である。

1. 高松宮賜杯全日本軟式野球大会　　　（県大会→関東大会→全国大会）
2. 福永健司杯埼玉県軟式野球大会　（さいたま市予選会→県大会→関東大会）※
3. 東日本軟式野球大会　　　　　　　　（県大会→全国大会）
4. 県民総合スポーツ大会軟式野球競技　（県大会→関東大会）※
	* ④県民総合スポーツ大会は、平成２８年度からＢクラス１部チームから参加を募集する。（１２チームを限度としてトーナメント戦を行う。）
	* 福永健司杯は、平成２９年度から、県民総合スポーツ大会大会は、令和５年度の県大会から７回戦となった。

【注意事項】平成２７年度から埼玉県各大会の代表者会議では、競技者必携が必要となるので、優勝チームには連盟から競技者必携を用意する。

Ｂクラス

　1年間で2大会を開催し、2部制となっている。原則、日曜日のみ試合を行うが、雨天等で日程がなくなる恐れがある場合などは、祝日も開催することがある。

　２大会はすべて7回戦である。

1. 春季軟式野球大会（1部～2部）
2. 秋季軟式野球大会（1部～2部）

　各大会の1部と2部についてはトーナメント大会であり、1回戦で敗退したチーム同士による敗者戦を行い、負けたチームは次期大会で２部へ移行し、２部の準決勝進出チームは次期大会で１部へ移行する。

　また、前年度の秋季大会１部優勝チームと、春季大会優勝チームは、「さいたま市野球連盟連合会会長杯軟式野球大会」に出場することになる。

※　平成26年度から各大会で全チームが２試合以上試合を行えるよう、チーム関係

　者を交えた「大会運営検討会議（ＰＴ会議）」を開催して決定した。

※　令和３年度春季大会は、令和２年度の新型コロナウイルス感染症による大会開催

　への影響を考慮し、１クラスで大会を開催し、ベスト16進出チームを同年度の秋

　季大会から１部とし、それ以外のチームを２部として編成することした。

* 今後も、おおよそ３年から５年周期で見直し等を行う予定である。
* さいたま市野球連盟連合会会長杯軟式野球大会

大宮・浦和・与野・岩槻の各支部から推薦された２チームずつ、計８チームによるトーナメント大会で、さいたま市内のナンバーワンを決める大会。大宮野球連盟ではＢクラスから出場することになるが、この大会は土曜日のみの大会である。

　　　なお、大会日程は、例年10月下旬頃から11月下旬頃に行われている。

　　　出場チームについては、前年度の秋季軟式野球大会（１部）優勝チームと、当該年度の春季軟式野球大会（１部）優勝チームを「原則」としている。

　さいたま市野球連盟連合会の大会や埼玉県大会以上の大会に出場する際は、大宮野球連盟の代表チームであることを十分に理解し、必ず参加するようお願いする。（不参加となった場合は、次年度以降出場できない可能性がある。）

※　令和元年度からのさいたま市予選会、県大会以上の参加金負担に係る変更点につ

　いて

１　一般（成人）

　　　チーム：連盟加入（登録金支払い）チームとする。

　大会　：大宮支部代表チーム（勝ち上がった）として出場する連合会又は県大

　　　　　会以上

　　　金額　：当面はチームが１万円を負担とする。

２　学童

　　当面、連盟の負担は１大会当たり１万円とする。

　大宮野球連盟各種大会でもここ数年棄権するチームが多くなっています。選手の趣味の多様化、業務等や冠婚葬祭などで都合が悪くなる選手などがいて、チーム代表者も選手を集めるのにかなり苦労してるかと察しますが、審判員や相手チームも日程を確保しておりますので、棄権することがないよう、よろしくお願いします。

　どうしても試合ができない場合は、試合前日までに連盟事務局、試合当日は、連盟事務局・審判部の携帯電話に必ず連絡してください。